

## 古代の竪穴建物跡が検出されました！（下郷遺跡第36次調査）

令和7年11月10日（月）～11月28日（金）まで、下郷遺跡第36次発掘調査を行いました。



調査区 全景



遺構検出状況

下郷遺跡は、深谷市東方地内に所在する遺跡です。過去の調査では、多数の竪穴建物跡や掘立柱建物跡などが確認されています。また、役人が使用したとみられる遺物も出土しており、隣接する幡羅官衙遺跡との強い関係性が示唆されます。

今回の調査では、竪穴建物跡3軒、土坑4基、ピット5基が検出され、土師器・須恵器片が出土しました。



遺物出土状況



調査風景